

<ジーコム独自調査レポート No.141>

コロナ禍の利用変化と利用基準

福岡県居住者の「飲食店・ショッピングセンターの利用」に関する調査

2020年10月

調査概要

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

2020年10月16日（金）～10月23日（金）

4. 調査規模

527サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比 (%)
男性	236	44.8
女性	291	55.2
全体	527	100.0

■年代	件数	構成比 (%)
20代	30	5.7
30代	104	19.7
40代	99	18.8
50代	99	18.8
60代	133	25.2
70代以上	62	11.8
全体	527	100.0

■居住地	件数	構成比 (%)
福岡市内	291	55.2
市外都市圏	118	22.4
その他福岡県	118	22.4
全体	527	100.0

■ライフステージ	件数	構成比 (%)
未婚	118	22.4
既婚・子どもなし	66	12.5
既婚・子どもが小学生以下	103	19.5
既婚・子どもが中学生以上で扶養	64	12.1
既婚・子育て終了	176	33.4
全体	527	100.0

■職業	件数	構成比 (%)
会社員	151	28.7
公務員	19	3.6
団体職員・病院勤務	13	2.5
経営者・会社役員	11	2.1
派遣社員・契約社員	41	7.8
商工自営	25	4.7
農林漁業	0	0.0
自由業	13	2.5
学生	4	0.8
パート・アルバイト	71	13.5
専業主婦（主夫）	121	23.0
無職	57	10.8
その他	1	0.2
全体	527	100.0

【報告書の見方】

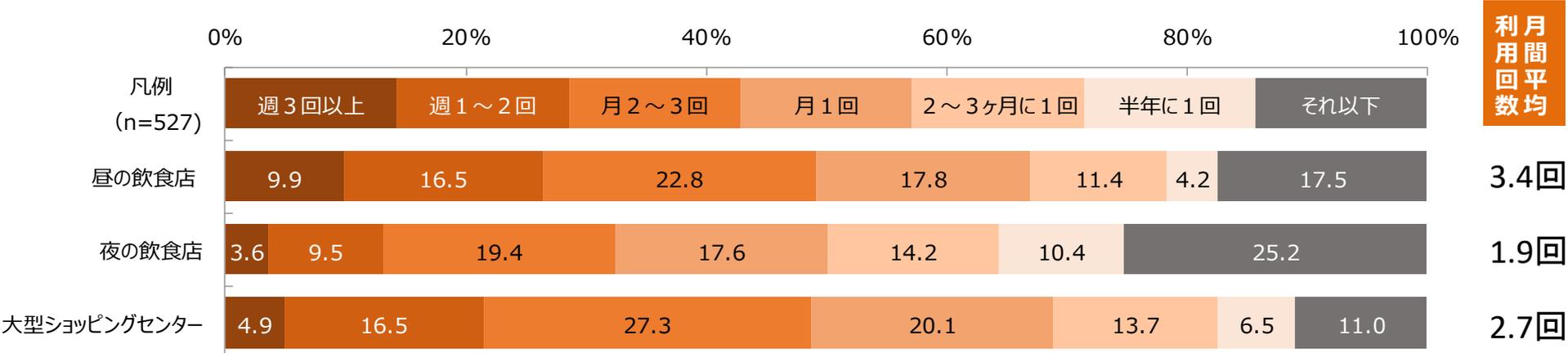
- 本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- 報告書中の図表では、コンピューター入力 of 都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

1. 新型コロナウイルス影響前後での飲食店・大型ショッピングセンターの利用変化

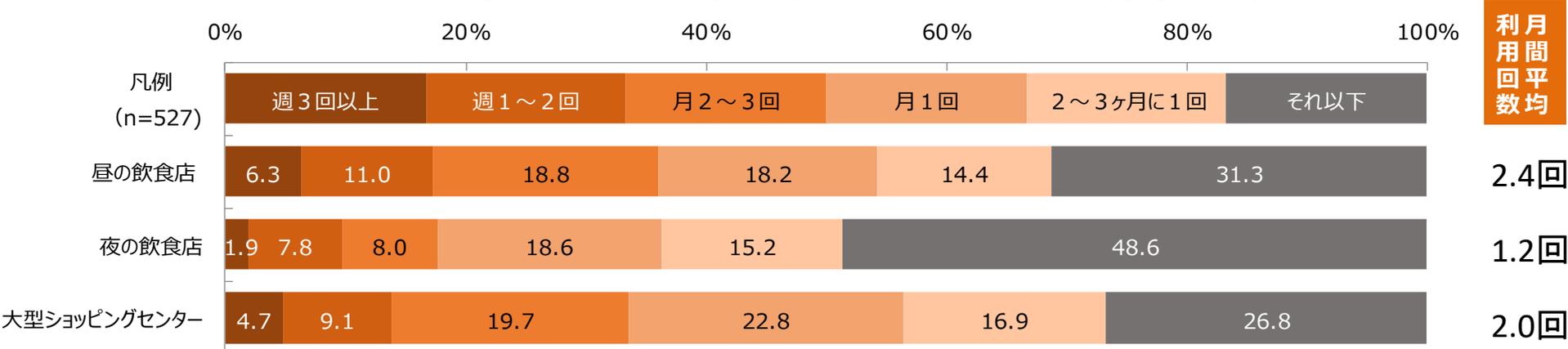
緊急事態宣言解除後はコロナ影響前と比べ、各項目の利用回数が減少。

新型コロナウイルス影響前と緊急事態宣言解除後（5～8月）について、各項目の利用頻度を尋ねたところ、月間平均利用回数は「昼の飲食店」で3.4回から2.4回、「夜の飲食店」で1.9回から1.2回、「大型ショッピングセンター」で2.7回から2.0回に減少した。

◆ <新型コロナウイルス影響前> 飲食店・大型ショッピングセンターの利用変化【単一回答】



◆ <緊急事態宣言解除後（5～8月）> 飲食店・大型ショッピングセンターの利用変化【単一回答】



* 月間平均利用回数: 「週5回以上」=22(5.5回×4週)、「週3～4回」=14(週3.5回×4週)、「週1～2回」=6(1.5回×4週)、「月2～3回」=2.5(2.5回×1ヶ月)、「月1回」=1、「2～3ヶ月に1回」=0.4(1回÷2.5ヶ月×12)、「半年に1回」=0.16(1回÷6ヶ月)、「それ以下」=0として加重平均を算出

・緊急事態宣言解除後は新型コロナウイルスの影響前と比べて、性別、年代別のすべての層で、各項目の月間平均利用回数が減少した。

◆飲食店・大型ショッピングセンターの利用変化【単一回答】

		調査数	【回】 昼の飲食店		【回】 夜の飲食店		【回】 大型ショッピングセンター	
			月間平均利用回数 (コロナ影響以前)	月間平均利用回数 (緊急事態宣言解除後)	月間平均利用回数 (コロナ影響以前)	月間平均利用回数 (緊急事態宣言解除後)	月間平均利用回数 (コロナ影響以前)	月間平均利用回数 (緊急事態宣言解除後)
全体		527	3.4	2.4	1.9	1.2	2.7	2.0
性別	男性	236	4.2	3.2	2.3	1.6	2.4	2.0
	女性	291	2.8	1.7	1.5	0.9	2.9	2.1
年代別	20・30代	134	3.8	2.7	2.6	1.8	2.7	1.8
	40・50代	198	4.1	2.5	2.3	1.4	3.0	2.2
	60代以上	195	2.5	2.0	1.0	0.7	2.4	2.1

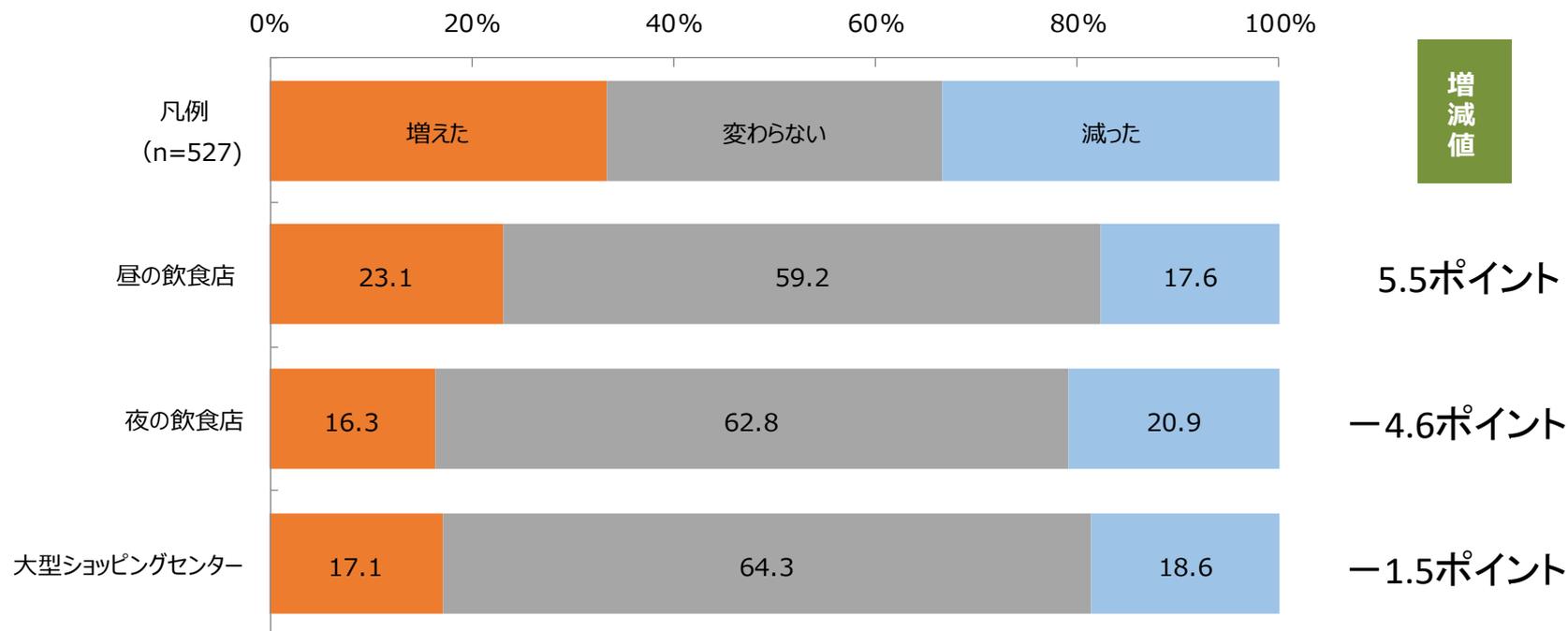
* 月間平均利用回数: 「週5回以上」=22(5.5回×4週)、「週3~4回」=14(週3.5回×4週)、「週1~2回」=6(1.5回×4週)、「月2~3回」=2.5(2.5回×1ヶ月)、「月1回」=1、「2~3ヶ月に1回」=0.4(1回÷2.5ヶ月×12)、「半年に1回」=0.16(1回÷6ヶ月)、「それ以下」=0として加重平均を算出

2. 5～8月と比べた9月以降の飲食店・大型ショッピングセンターの利用増減

女性の「昼の飲食店」利用頻度が増加。

緊急事態宣言解除後（5～8月）と比べた、9月以降の飲食店・大型ショッピングセンターの利用増減について、「増えた」から「減った」を減じた「増減値」は「昼の飲食店」が5.5ポイントで唯一のプラスとなった。

◆ 5～8月と比べた9月以降の飲食店・大型ショッピングセンターの利用増減【単一回答】



* 増減値:「増えた」-「減った」

・各項目について、性別では女性は男性に比べて、年代別では20・30代は他の年代に比べて増減値が高い。

◆ 5～8月と比べた9月以降の飲食店・大型ショッピングセンターの利用増減【単一回答】

		調査数	【%】			【ポイント】	
			増えた	変わらない	減った	増減値	
昼の飲食店	全体	527	23.1	59.2	17.6	5.5	
	性別	男性	236	18.6	62.3	19.1	-0.4
		女性	291	26.8	56.7	16.5	10.3
	年代別	20・30代	134	27.6	55.2	17.2	10.4
		40・50代	198	24.2	55.1	20.7	3.5
		60代以上	195	19.0	66.2	14.9	4.1
夜の飲食店	全体	527	16.3	62.8	20.9	-4.6	
	性別	男性	236	13.6	63.1	23.3	-9.7
		女性	291	18.6	62.5	18.9	-0.3
	年代別	20・30代	134	23.9	55.2	20.9	3.0
		40・50代	198	19.2	57.1	23.7	-4.5
		60代以上	195	8.2	73.8	17.9	-9.7
大型ショッピングセンター	全体	527	17.1	64.3	18.6	-1.5	
	性別	男性	236	14.0	67.8	18.2	-4.2
		女性	291	19.6	61.5	18.9	0.7
	年代別	20・30代	134	20.1	60.4	19.4	0.7
		40・50代	198	18.2	62.1	19.7	-1.5
		60代以上	195	13.8	69.2	16.9	-3.1

*増減値:「増えた」-「減った」

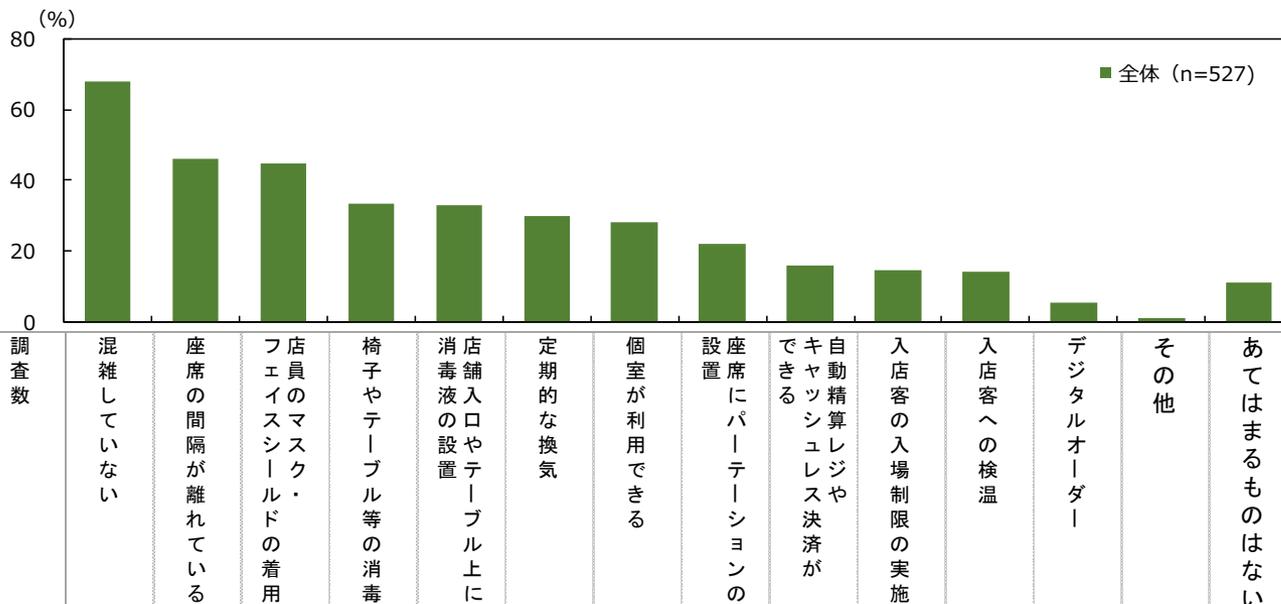
3. 緊急事態宣言解除後の飲食店利用基準

「混雑具合」「座席の間隔」といった周囲の客との距離を最も重視。

緊急事態宣言解除後の飲食店利用基準について、「混雑していない」の割合が67.9%で最も高く、次いで「座席の間隔が離れている」46.3%、「店員のマスク・フェイスシールドの着用」44.6%の順である。

- ・性別では、女性は男性に比べて「座席の間隔が離れている」「店員のマスク・フェイスシールドの着用」など5項目の割合が高い。
- ・昼の飲食店利用増減別では、増えた層は他の層に比べて「座席の間隔が離れている」「定期的な換気」の割合が高い。

◆緊急事態宣言解除後の飲食店利用基準
【複数回答】



調査数	混雑していない	座席の間隔が離れている	店員のマスク・フェイスシールドの着用	椅子やテーブル等の消毒	店舗入口やテーブル上に消毒液の設置	定期的な換気	個室が利用できる	座席にパーティションの設置	自動精算レジやキャッシュレス決済ができる	入店客の入場制限の実施	入店客への検温	デジタルオーダー	その他	あてはまるものはない	
全体	527	67.9	46.3	44.6	33.6	32.8	30.0	28.1	22.0	15.7	14.8	14.2	5.5	1.1	11.0
性別															
男性	236	65.3	38.6	35.6	27.5	25.4	24.2	24.6	22.0	10.6	10.6	12.7	4.2	1.7	14.4
女性	291	70.1	52.6	51.9	38.5	38.8	34.7	30.9	22.0	19.9	18.2	15.5	6.5	0.7	8.2
年代別															
20・30代	134	59.0	32.8	32.8	24.6	24.6	25.4	28.4	16.4	14.9	11.9	7.5	4.5	1.5	14.9
40・50代	198	67.7	50.0	46.0	30.3	29.3	29.8	28.8	19.2	16.2	11.1	11.6	6.1	1.5	11.1
60代以上	195	74.4	51.8	51.3	43.1	42.1	33.3	27.2	28.7	15.9	20.5	21.5	5.6	0.5	8.2
昼の飲食店利用増減															
増えた	122	73.8	59.0	52.5	41.8	39.3	42.6	27.0	26.2	18.9	19.7	20.5	4.9	1.6	5.7
変わらない	312	65.1	40.1	39.7	29.8	29.5	25.0	26.6	19.6	15.1	10.9	11.2	3.8	1.0	14.1
減った	93	69.9	50.5	50.5	35.5	35.5	30.1	34.4	24.7	14.0	21.5	16.1	11.8	1.1	7.5
夜の飲食店利用増減															
増えた	86	69.8	46.5	47.7	33.7	30.2	36.0	27.9	26.7	18.6	12.8	18.6	5.8	2.3	10.5
変わらない	331	65.6	45.6	43.8	33.5	32.9	29.6	27.2	20.8	16.0	13.9	13.6	3.9	0.9	12.7
減った	110	73.6	48.2	44.5	33.6	34.5	26.4	30.9	21.8	12.7	19.1	12.7	10.0	0.9	6.4

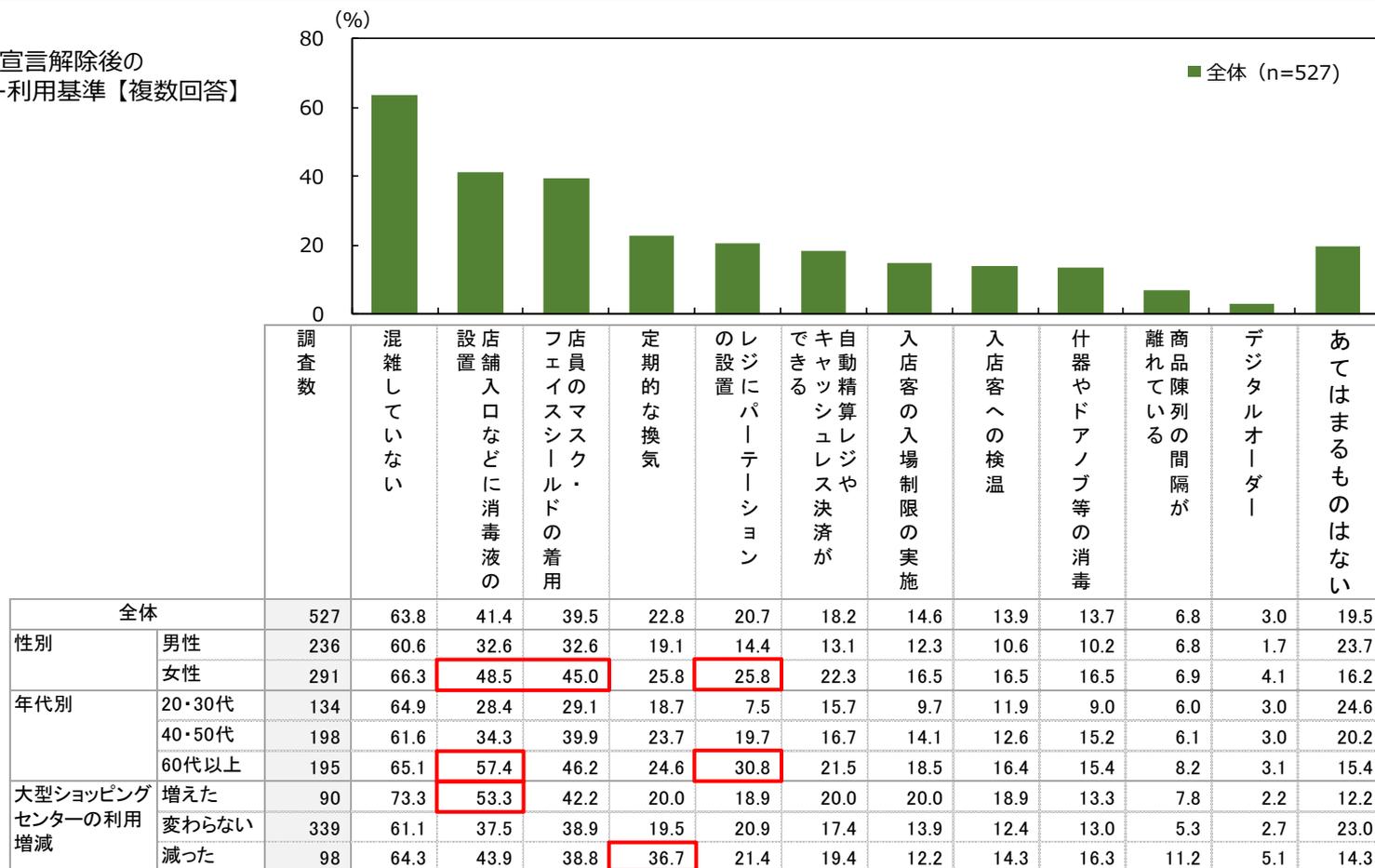
4. 緊急事態宣言解除後の大型ショッピングセンター利用基準

ショッピングセンター利用減少層は「定期的な換気」を施設に求める割合が高い。

緊急事態宣言解除後の大型ショッピングセンター利用基準について、「混雑していない」の割合が63.8%で最も高く、次いで「店舗入口などに消毒液の設置」41.4%、「店員のマスク・フェイスシールドの着用」39.5%の順である。

- ・性別では、女性は男性に比べて「店舗入口などに消毒液の設置」「店員のマスク・フェイスシールドの着用」「レジにパーテーションの設置」の割合が高い。
- ・年代別では、60代以上は他の年代に比べて「店舗入口などに消毒液の設置」「レジにパーテーションの設置」の割合が高い。
- ・利用増減別では、増えた層は「店舗入口などに消毒液の設置」、減った層は「定期的な換気」の割合が高い。

◆緊急事態宣言解除後の
大型ショッピングセンター利用基準【複数回答】



発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL : <https://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail : inq@gcom-net.co.jp